



鶴見区民会議は、誰でも自由に参加できる話し合いの場です。話し合いから、うるおいがあり、心安らぎ、また活力のある地域社会づくりのアイデアが生まれます。

編集発行 鶴見まちづくり推進会議
承認 鶴見区 第5号

防災～家庭での備え、地域での備え～

平成24年11月13日(火)鶴見公会堂で、第2回区民会議を開催しました。3つの分科会に分かれて、それぞれのテーマについて話し合い、その後の全体会で、各分科会の内容を発表し合いました。



★第1分科会 「個人・家庭での備え」

＜こんな意見が出ました＞

- ◇まずはそのとき自分の身を守る
- ◇水の保管は大事ー風呂の水張りなど
- ◇家が建築基準にあっているか確認

東日本大震災から2年が経ち、防災意識が薄れてきている頃です。今後行動を起こすためのきっかけづくりとして、3.11の時にどこにいたか、そしてどのように行動し、今後どのような対策が必要か、などを参加者同士で話し合いました。震災時には、自宅・友人宅にいた方がほとんどでしたが、外出中や、レストランで食事中、会議中だった方もいらっしゃいました。その後とった対策としては、大切な水を確保するためにお風呂の水張りをしている、備蓄品を見直し懐中電灯やラジオなどの情報機器を購入した、家具の転倒防止対策を実施した、命を守るためにまず家が倒壊しないよう、横浜市の補助金を利用して耐震診断を行い、その結果家を建て替えた、など多くの意見が出され、活発に意見交換が行われました。

★第2分科会

「地域での備え（要援護者の安否確認・避難など）」

＜こんな意見が出ました＞

- ◇災害時に無事なときは、黄色いリボンを出すことにしています
- ◇要援護者が増える中、見守る人の体制づくりが課題です



要援護者の安否にかかる必要な情報の把握や、防災のあり方について話し合いました。各地区の取組として、生麦では役所に出す名簿以外に民生委員が要援護者を把握したり、江ヶ崎では民生委員が独自に調査したり、元気なときには黄色いリボンを出して何度も確認しなくてすむようにしている事例の紹介もあり、参考になったという意見が多くありました。区内で要援護者と想定されている人は約8500人いますが、そのうち2600人ほどしか登録名簿にありません。行政と一緒に登録を進めていかなければいけないと話し合いました。また、民生委員1人に要援護者26人の割合となっており、安否確認に回り切れず、保健活動推進員の人などと一緒に回っている状況です。他には、オートロックマンションで誰も出てこない・入れないという状況でどうすべきか、という点などが課題としてあがりました。



★第3分科会「地域での備え（防災訓練、隣近所での連携など）」

<こんな意見が出ました>

◇身近なところでの助け合い、
近所の普段からの付き合いが一番大事

参加者からは、「要援護者は、自治会では個人情報があるので、身近な隣近所で見守ってはどうか」「いっとき避難場所としている宅地にかかる税金に、優遇制度はないか」「町会に所属のないマンションは避難訓練の参加者が少ないが、他の地域はどうしているか」「災害時にすぐ行政に頼ることは難しいので、防災拠点を充実させることが必要ではないか」「役所の計画の実行には、隣近所の助け合いが大切」など多くの意見が出されました。また、地域の取組として、家が倒壊したときに救助できるように家庭にいる時間など住民アンケートを行い、結果を参考にして救助の順番を考えている町内会や、救助器具をそろえた町内会、見守り隊を作り、10軒ひと組としてリーダーをおき連絡網も作成し、日ごろの声かけを行っている地域や、町内会と協力して災害時にできることを考えているという建設業者の方の話もありました。様々な意見がありましたが、身近なところでの助け合い、近所の普段からの付き合いが一番大事だという意見でまとまりました。

★全体会

<あいさつ>

鶴見まちづくり推進会議 推進委員会 佐藤信男 委員長

区民会議では、毎年定めたテーマについて、区民の皆さん同士で活発な議論が交わされています。防災への意識が高まっている今、この会議をきっかけに地域における活動がますます盛んになればと考えています。

鶴見まちづくり推進会議 区民会議部会 小山和雄 部会長

7月に、防災危機管理教育コンサルタントの松尾知純（ともよし）氏に「命を守る本気の防災—その瞬間の“個人力”、その後を乗り切る“地域力”—」について講演をいただき、防災について考える機会を持ちました。今回の区民会議では、災害への備えとして、個人、家庭、そして地域で取り組めることがいろいろあることを、感じていただけたのではないのでしょうか。

<各分科会からの発表>

分科会ごとに、出された意見をまとめて発表しました。

<講評> 山崎幹夫 鶴見区長

本日は熱心な討議を有難うございました。神戸の震災のときには、救助された3万5千人のうち75%が近所の人に救助され、その人たちはレスキュー隊に救助された人よりも生存率が高くなっています。地域の絆、向こう三軒両隣というつながりを再構築していくことを、安全安心な鶴見のまちをつくっていくことを、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。



平成25年度「区民大会・区民会議」を開催します！（6月頃を予定しています）

詳細については、広報よこはま鶴見区版やホームページなどでお知らせします。

【お問合せ】 鶴見区役所 広報相談係

〒230-0051 鶴見区鶴見中央3-20-1

電話：510-1680 FAX：510-1891